

巡検・セミナー開催のご案内

令和3年度の巡検・セミナーについては、新型コロナウイルスの状況を判断しながら実施いたします。

展覧会情報

地図に描く—伝えられた「日本」—

期間 ~2月27日

会場 西南学院大学博物館 (福岡市)

電話 092-823-4785

宣長が見た日本

期間 ~3月7日

開催にあたっては参加の皆様のお安全面に考慮した計画といたします。再開の際は本紙・ホームページでお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

会場 本居宣長記念館 (松阪市)

電話 0598-21-0312

地図に描かれたCocuraと北九州

期間 ~3月31日

会場 ゼンリンミュージアム (北九州市小倉北区)

電話 093-592-9082

新型コロナウイルスの影響で、企画展の中止、入館制限(要予約など)が行われています。観覧の前に、各博物館等のWebサイトなどをご確認下さい。

mini地図NEWS

▶ 国境のない地球儀。『ほぼ日のアースボール』が11月5日にリニューアル発売!

より最先端でグローバルに、毎日たのしめる地球儀へと進化した『ほぼ日のアースボール (セカンドモデル)』は、2020年11月5日 (木) 発売されました (公式サイト価格は、3,960円 (税込))。

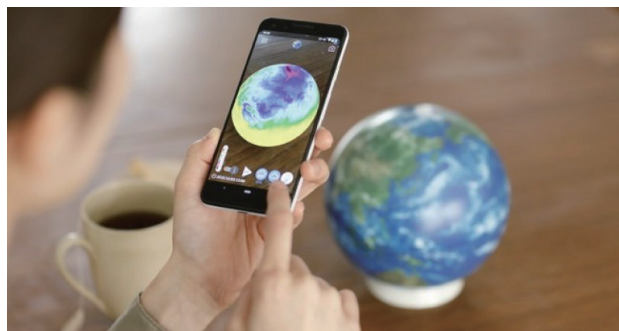
最初のモデルは、ビーチボールタイプで、直径が約27cmと大きめ。対して、今回のモデルはコンパクト (直径約15cm) で、軽くて硬いタイプにリニューアルしました。

また、アプリリニューアルによって、「いまの地球」と「一週間の地球」が見られるようになりました。スマホやタブレットをかざすと、「雲・雨・気温」のデータが、1時間おきにリアルタイムで更新されて映し出される他、一週間分の「雲・雨・気温」の変化もさかのぼって見ることが出来ます。台風の発生から消滅までの地球上での様子、急激に気温が変化したときの世界の様子などを、地球を360度ぐるぐると回転させながら見ることで、宇宙から眺めるように

生きた地球を感じられます。

アースボールにスマートフォンやタブレットをかざしてコンテンツをおたのしみいただくには、専用アプリ (無料) が必要です。「いまの地球」「一週間の地球」の新コンテンツが利用できるアプリの最新バージョン (ver.3.0) は、11月2日 (月) 中に公開されます。

※対応OSは、iOS、Androidです。ダウンロード方法や動作環境や対応機種などの詳細は公式ページからご確認ください。 (PR TIMESより)



AR (拡張現実) 技術でいまの地球をリアルタイムで確認

地図絡み

東京都大田区山王 (さんのう) 地区へ

(一財) 地図情報センター 監事 伊藤 等

ちょっとした言い訳

2021年1月現在、1都3県の感染症は危機的状況! 実踏・巡検実施などとんでもない状況である。散策程度もおっかなびっくりである。さてこまった!

偶然、筆者がお世話になっている方が“東京都大田区山王”から出勤され、長年勤務した職場の方は“山王”生まれとの事。幼い頃母に連れられて国鉄京浜東北線大森駅から白木屋デパート (海側) などに連れて行ってもらった記憶が (帰宅時に不二家店頭でドーナツがぐるぐる回って油に入る機械をじっと眺めていた)。我が古里はお隣の“馬込”、これも何かの“ご縁”!

▶ 東京都大田区山王

“山王”をGoogle Mapで検索、範囲が白っぽく表示。早速、名所旧跡などを抽出。表示されない歴史・地理的事象は大田区役所等々のホームページを確認。

山王地区(図1)は、西側を西大井本通り・環状七号(図1の黄色の道路)、東側を南北にJR京浜東北線(大森駅が位置)、北側は品川区で限られる三角形で、JR線に近く南北に池上通り、北部の東西方向にはジャーマン通りが通っている。



図1 大田区山王 (Google Map) 地区。

現在の山王地区は北を品川区、西を大田区馬込、東を大田区大森・品川区南大井に囲まれる三角形をしている。一部地名を付記。画面左下のオレンジ囲みは新井宿(部分)

▶ ちょっとだけ概要を(ウィキペディアの受け売り)

- ・江戸時代、平間街道(現池上通り)沿いの宿場町(新井宿)で、JR大森駅前の山側は将軍家の御狩場(海側は田畑)。
- ・明治5年、鉄道開通(新橋～横浜間、明治9年大森停車場開業)。多くの外国人が移り住み開発化。車中のエドワード・S・モースが貝塚を発見(現在、大森貝塚の石碑が残る)。
- ・明治20年、大森八景園開業(～大正11年)。京浜の新名所化。その後、大森ホテルや望翠楼ホテル(旧ILO東京支局も)を中心に別荘地として栄えたが、大正12年の関東大震災後は安全利便な郊外住宅地として文化人・政治家・実業家などの邸宅が並ぶ住宅地化。
- ・独逸学園が横浜より移転(大正14～平成3年)。現在

もジャーマン通りの名称が残る。

- ・明治22年、本郷より日本帝國小銃射的協会が移転(約15,000坪の土地に射的場建設)。その後、敷地内にテニスコートを設置し大正12年、「大森庭球クラブ」開設。射的場は鶴見に移転(敷地の過半が住宅地として分譲化)。「大森テニスクラブ」として存続。
- ・昭和初期、時代を代表する文学者が数多く集まり、馬込文士村の一角を形成。

▶ 「新井宿」大田区役所ホームページより

- ・大森駅近くの闇坂南側、池上通りを中心にその両側に広がる、明治時代からの住宅地。明治時代には景勝地として人気を集め、財政界人の邸宅や望翠楼ホテル、大森ホテルなどの眺望の良いホテルなどが立地。
- ・地区の中心部を平間街道と旧六郷用水が併走し、沿道には鎮守の春日神社、善慶寺などが位置。
- ・大森赤十字病院、大森郵便局等々の公共施設も多く、大田区役所跡地は文化活動の拠点として大田文化の森が開設。

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/sumaimachinami/machizukuri/keikan/18syoku/06_araijuku.files/06_araijuku.pdf 大田区役所「新井宿景観マップ」参照

大森貝塚の碑(史跡大森貝塚)、徳富蘇峰胸像・区立蘇峰公園・山王草堂記念館、尾崎士郎記念館、圓能寺(円能寺)、大森山王日枝神社(地名の由来)、藤原洗旧居跡、室生犀星旧居跡、山王巖島神社(俗に小町弁天)、日本帝國小銃射的協会碑(大森テニスクラブ(旧大森射的場))、熊野神社、狐碑、馬込文士村資料展示室(区立山王会館)、山王三丁目遺跡、善慶寺(都指定旧跡 義民六人衆の墓)、高稲荷神社、山本有三旧居跡、第六天根が原神社、長田稲荷神社、旧井上馨邸(区立山王小学校)、成田山大森不動尊、天祖神社山王小路飲食店街(通称:地獄谷)、文士村レリーフ、区立山王公園(旧大森ホテル)等々。

“山王”地区は見所満載・歴史文化満載の地である。

▶ 巡検してみたい多くの歴史・文化を秘めた“山王”地区

古くは新井宿村、不入斗などの興味深い地名、明治以降の様々な活動の蹟など歴史・文化ある“山王”地区はしっかり大田区役所、善慶寺等々のホームページを閲覧し、Google Mapを眺めながら満足のいく巡検コースを設定するにはもう少し時間が必要であろう。

(2021.1)